

殺虫剤の種子塗沫で

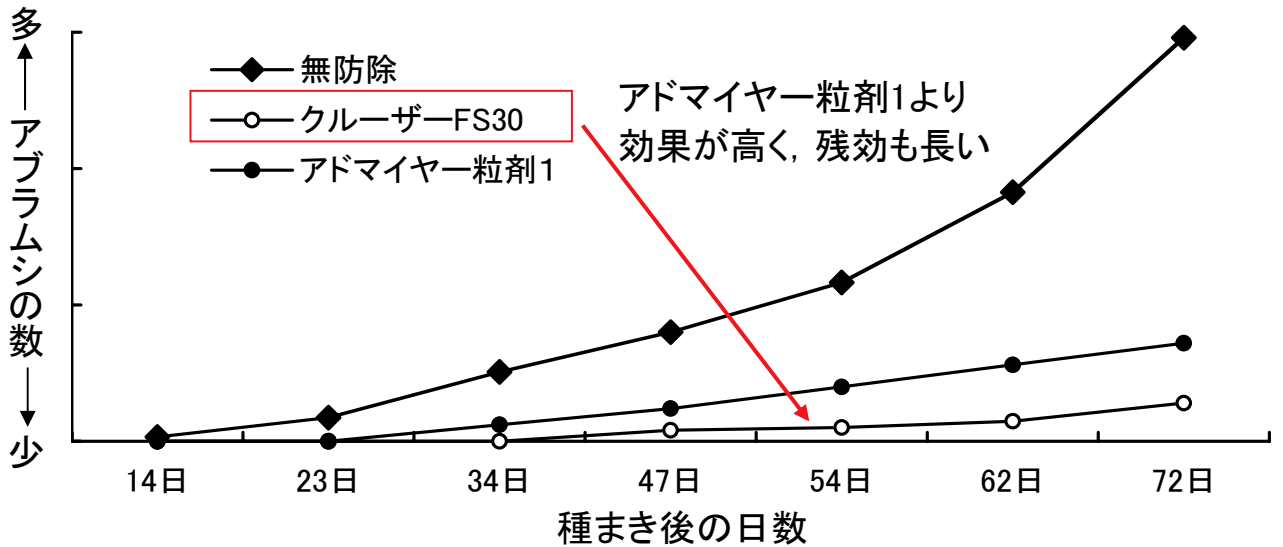
大豆に発生するアブラムシ類とタネバエが
楽に防除できます

- ☆ 出芽直後からアブラムシ類が防除できます
- ☆ 出芽前・出芽後のタネバエも防除可能です
- ☆ 殺虫剤はクルーザーFS30を使用して下さい
- ☆ 紫斑病の種子消毒剤との近接処理も可能です



クルーザーFS30を
塗沫処理したダイズ種子

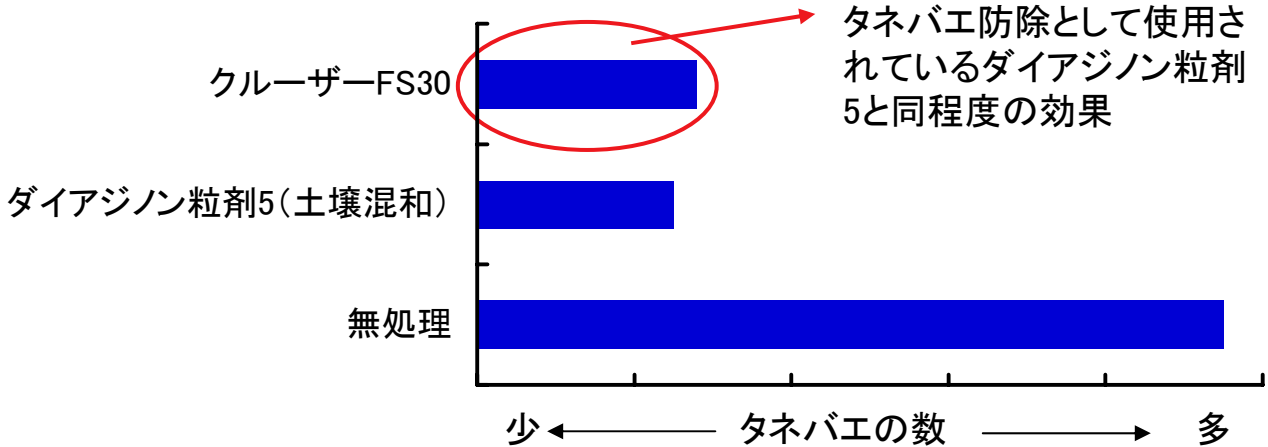
アブラムシ類に対する防除効果



クルーザーFS30の効果が続く期間



タネバエに対する防除効果



注意事項

- * 使用できる農薬はクルーザーFS30です。
- * 処理量は乾燥種子1kg当り原液6mlです。
- * クルーザーFS30と紫斑病の種子消毒剤として使用されているキヒゲンR2フロアブルとの近接処理による薬害は認められません。
- * 薬剤の付着性の点を考慮して、クルーザーFS30とキヒゲンR2フロアブルを近接処理する場合は、クルーザーFS30を塗沫した後にキヒゲンR2フロアブルを塗沫して下さい。
- * クルーザーFS30の塗沫処理は、ダイズに発生するネキリムシ類に対しても農薬登録されています。

問い合わせ先
鳥取県農業試験場
環境研究室
電話
0857-53-0721
FAX
0857-53-0723

本書から転載複製する場合には必ず農業試験場の許可を受けて下さい